

＜事後評価＞

資料2-4
滋賀県公共事業評価監視委員会
令和7年12月22日

多様な主体の参画と連携による 湖国の都市公園づくり



滋賀パーク

滋賀県土木交通部都市計画課

◆計画の概要



- 1. 交付金名** 社会資本整備総合交付金
- 2. 計画名** 多様な主体の参画と連携による湖国の都市公園づくり
- 3. 事業主体** 滋賀県
- 4. 事業期間** 令和3年度～令和7年度(5年間)
- 5. 事業数** 2事業(びわこ文化公園、びわこ地球市民の森)
- 6. 目標**
- 行政・県民・事業者等が、県営都市公園が担う役割とめざすべき基本的な方向性を共有し、だれもが自由に利用できる多様性に配慮したにぎわいと活力あふれる県営都市公園となることをめざす。
 - 民間事業者等がもつノウハウや資金、迅速性・柔軟性といった強みを活かした公園整備・管理をめざす。

7. 計画の成果目標(定量的指標)

びわこ文化公園、びわこ地球市民の森、の公園利用者数の増加

R2年度44.7万人 ⇒ R7年度67.0万人

◆事業の概要



①官民連携型賑わい拠点創出事業(びわこ文化公園整備事業)

Park-PFI事業による特定公園施設の整備

②官民連携型賑わい拠点創出事業(びわこ地球市民の森整備事業)

Park-PFI事業による特定公園施設の整備



◆Park-PFIおよび特定公園施設

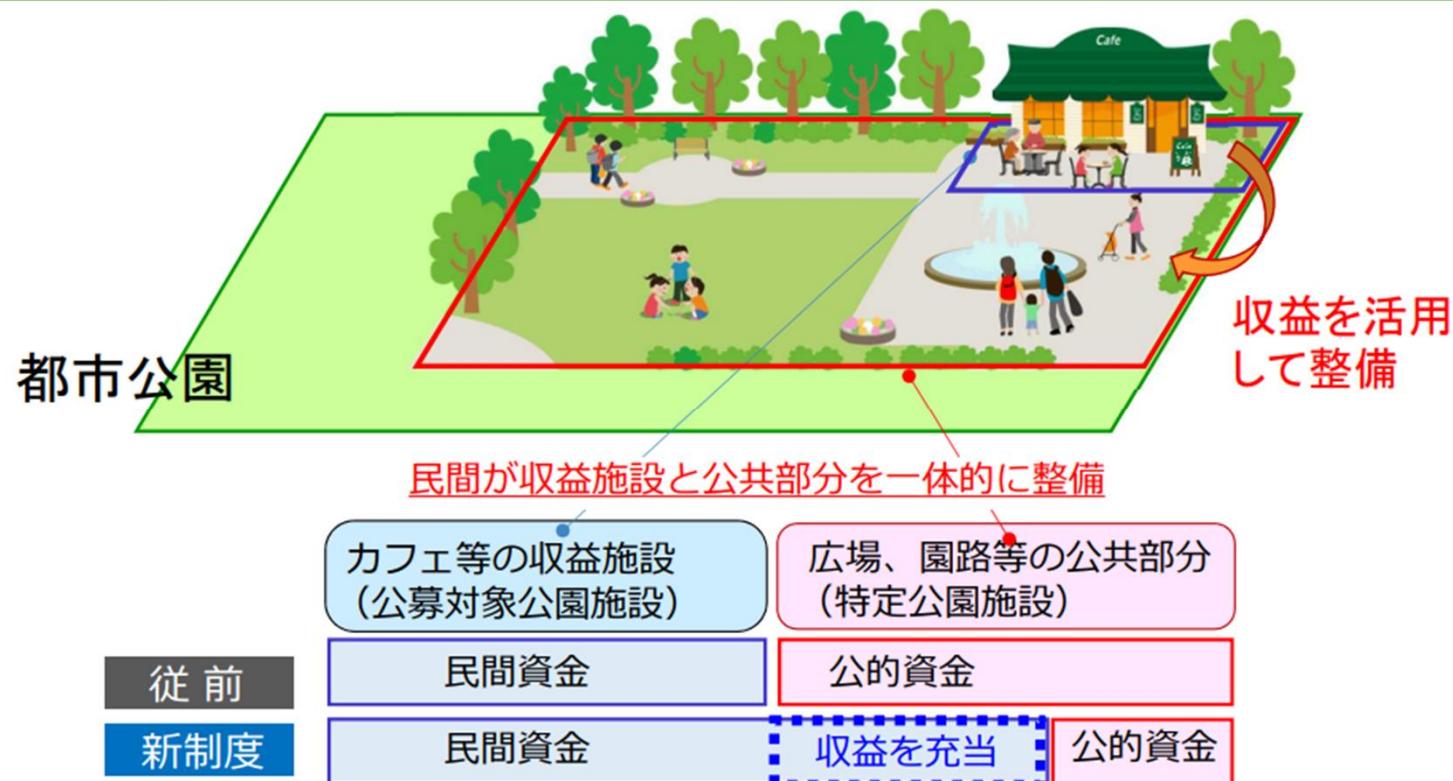


● 公募設置管理制度(Park-PFI)の特徴

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設(公募対象公園施設)の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き
- 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される

条件

園路、広場等の公園施設(特定公園施設)の整備を一体的に行うこと



◆事後評価の審議内容



(1) 事業の進捗状況※1

(2) 事業効果の発現状況※1

(3) 評価指標の目標値の実現状況※1

(4) 主要な事業に関する事項※2

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化
2. 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化
3. コスト縮減および代替案立案等の可能性
4. その他必要と考えられる事項

全ての事業が完了し、要綱に定める要件に該当する事業がないことから、対象外とした。

※1. 滋賀県公共事業等計画評価実施要綱第3-1

※2. 滋賀県公共事業等計画評価実施要綱第3-2

◆ (1) 事業の進捗状況



- 2事業とも、計画期間内(～R7)の完了を目標に事業を推進。結果、1事業は昨年度完了、残る1事業は今年度末完了見込み。

事業主体	事業数	計画期間内 (R7年度末まで) に 完了を予定していた 事業数 (a)	計画完了時点 (R7年度末まで) に 完了した事業数 (b) ※1	進捗率 (b)/(a)
合計	2事業	2事業	2事業	100%

※1. R7年度末完了予定事業を含む。

◆ (2) 事業効果の発現状況

①びわこ文化公園



◆ (2) 事業効果の発現状況

①びわこ文化公園



大屋根



ワーケーションベンチ

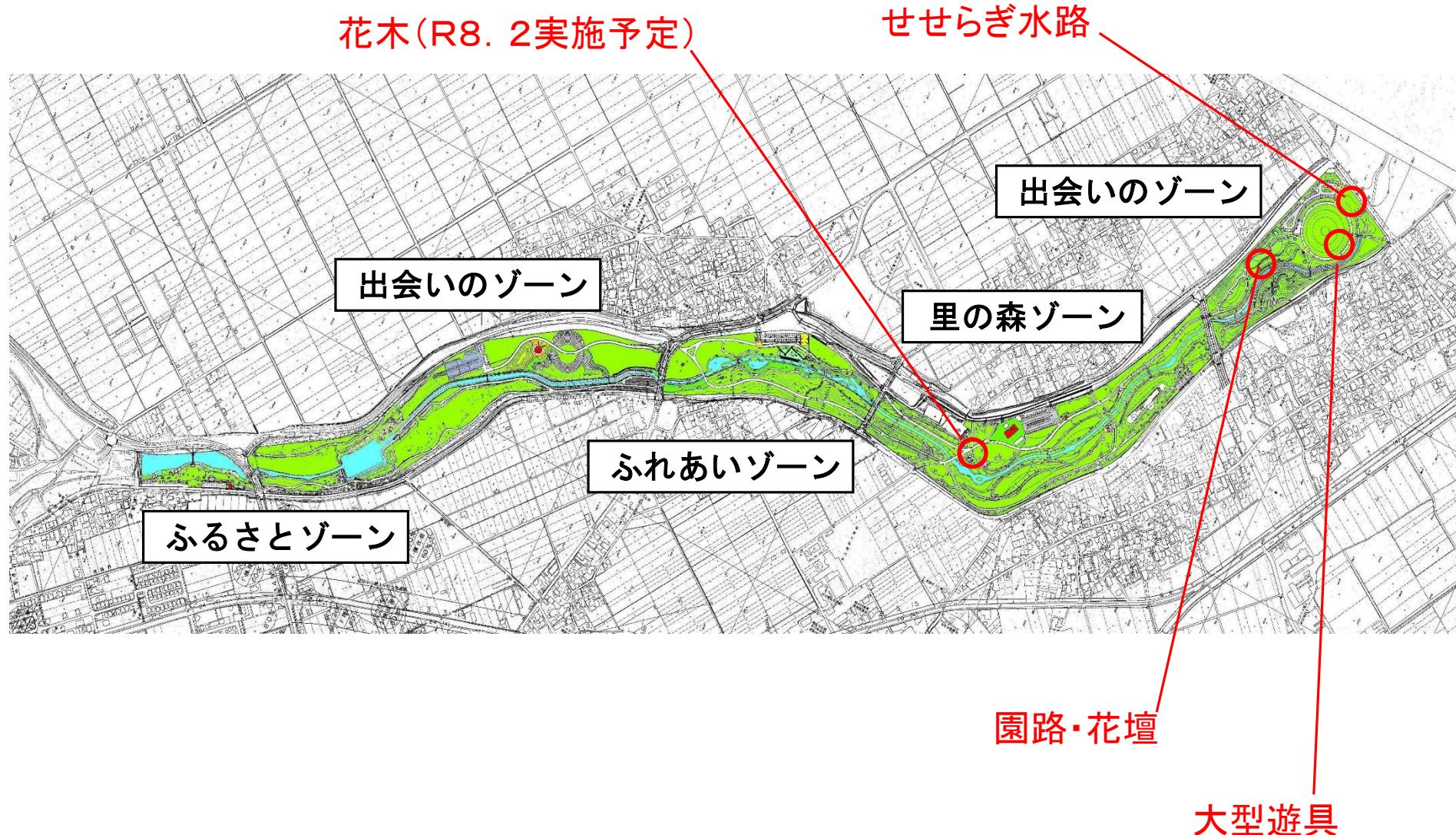


インクルーシブトイレ

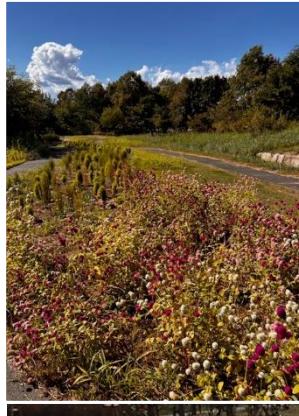


ビオガーデン

◆ (2) 事業効果の発現状況②びわこ地球市民の森



◆ (2) 事業効果の発現状況②びわこ地球市民の森



左上 せせらぎ水路

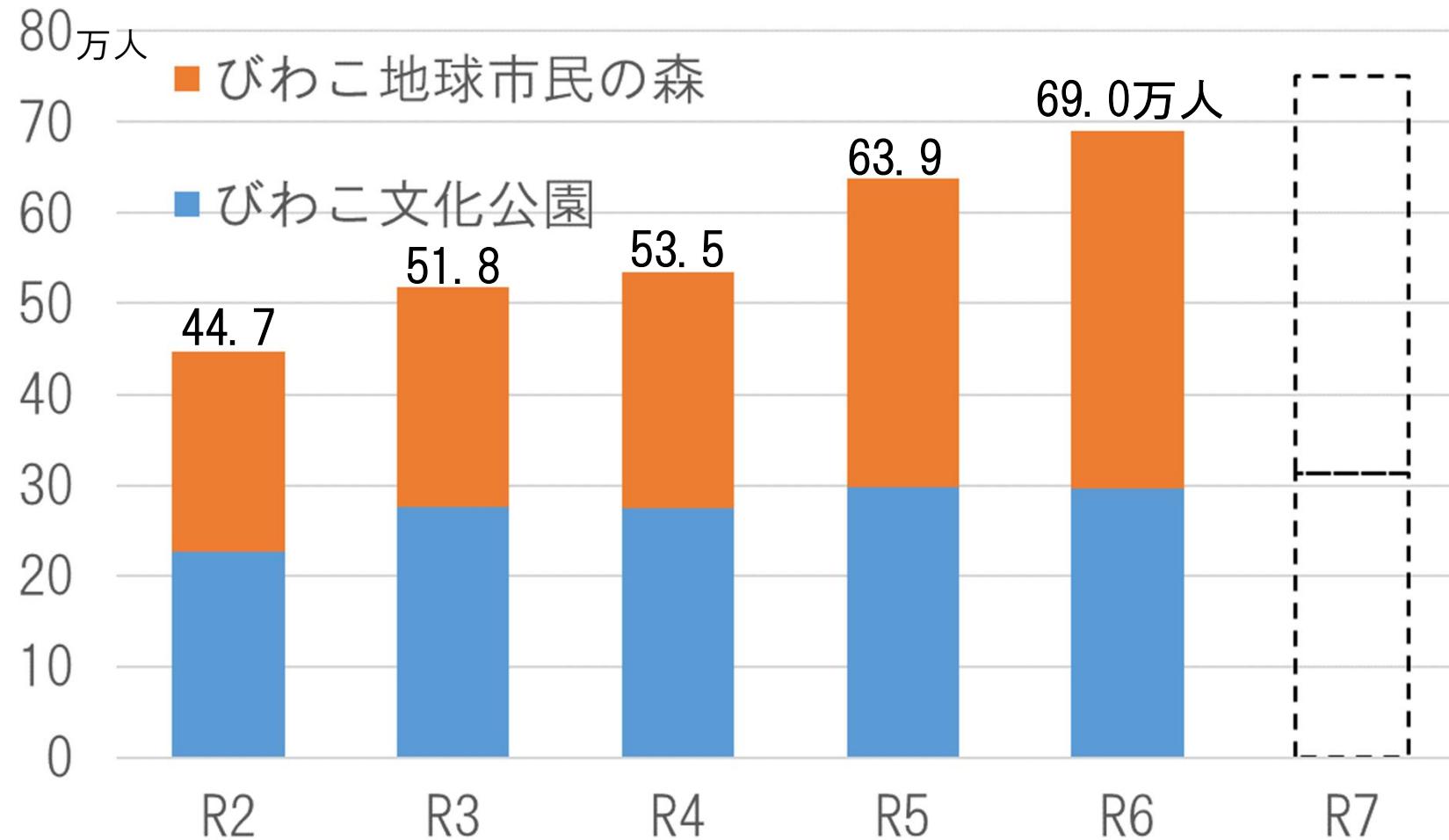
右上 園路・花壇

左 大型遊具

◆ (3) 評価指標の目標値の実現状況



■ R7年度の目標67万人に対して、R6年度69万人となり、**目標を達成**



◆まとめ



(1)事業の進捗状況

実施事業の2事業とも完了。

(2)事業効果の発現状況

2事業とも、にぎわいと活力の創出につながっていることが確認できた。

(3)評価指標の目標値の実現状況

目標となる公園利用者数が達成されていることが確認できた。

(4)主要な事業に関する事項

要綱の要件に該当する事業がないことから、対象外とした。

◆今後の方針(案)



- 引き続き、にぎわいと活力あふれる県営都市公園を目指し、官民連携の取組を進めていく。